

## 事前評価個表

整理番号	15
------	----

地域（地区）名	<small>きちゅう</small> 紀中	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	和歌山県	対象市町村	<small>ありだ</small> 有田市ほか 10 市町
事業実施期間	R3 年度～R7 年度（5 年間）	事業実施主体	市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地域は、本県の中央部に位置し、県土面積の 25%を占め、区域内面積のうち 72%が森林となっている。スギ・ヒノキを主体とした人工林率は 57%、人工林蓄積は県全体の 21%となっており、利用可能な 8 齢級以上の林分が 95%を占めている。また、私有林の経営規模別では、5ha 未満の所有者が 80%を占めている。</p> <p>路網密度は 26.21m/ha と他の流域に比べて高く、区域内の森林組合及び林業事業体は一貫施業や機械化などの低コスト化に積極的に取り組んでいるが、零細所有者が多いことから施業の集約化が引き続き課題となっている。</p> <p>このため、森林境界の明確化や現況等の情報整理、森林所有者への情報提供等による集約化を促進するとともに、森林環境保全整備事業を活用し人工造林による造林未済地の防止、間伐と作業道作設を中心とした森林整備を実施し、水源涵養<small>かん</small>や山地保全等の森林の持つ多面的機能の発揮、および森林資源の循環利用を推進する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,645ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>路網整備：林道開設及び改良 延長 6,291m</p> <p>総事業費：2,410,939 千円（税抜き 2,191,763 円）</p>
費用便益分析結果	<p><math>B/C = 5.53</math></p> <p>（総便益（B）=17,091,633 千円、総費用（C）=3,092,214 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：利用可能なⅧ齢級以上の人工林率が高く、計画的な再造林や間伐等の適正な森林整備が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から、十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：木材の安定生産だけでなく、主伐後の再造林を推進し、適正な森林整備を実施することにより、水源涵養<small>かん</small>機能や土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を目指しており、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：和歌山県

地域(地区)名：紀中<sup>きちゅう</sup>

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	3,765,601	
	流域貯水便益	1,433,032	
	水質浄化便益	5,259,040	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,784,829	
環境保全便益	炭素固定便益	2,164,442	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	31,260	
	木材利用増進便益	17,067	
	木材生産確保・増進便益	479,158	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	5,746	
	森林管理等経費縮減便益	2,299	
	森林整備促進便益	812,166	
災害等軽便便益	災害復旧経費縮減便益	334,631	
維持管理費縮減便益		2,362	
総 便 益 (B)		17,091,633	
総 費 用 (C)		3,092,214	
費用便益比	$B \div C = \frac{17,091,633}{3,092,214} = 5.53$		

# 森林環境保全整備事業計画 【紀中地域計画対象地域図】



**対象市町村**  
 有田市・湯浅町・広川町・有田川町・御坊市・美浜町・  
 日高町・由良町・印南町・みなべ町・日高川町（11市町）

凡 例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	

